

普通科数学25班

世界の計算方法で目指せ！黄金式！

班員 畦田結斗 椎葉樹 佐藤晋輔 林田浩典 佐々木一真
指導者 小川敬弘先生

研究の動機

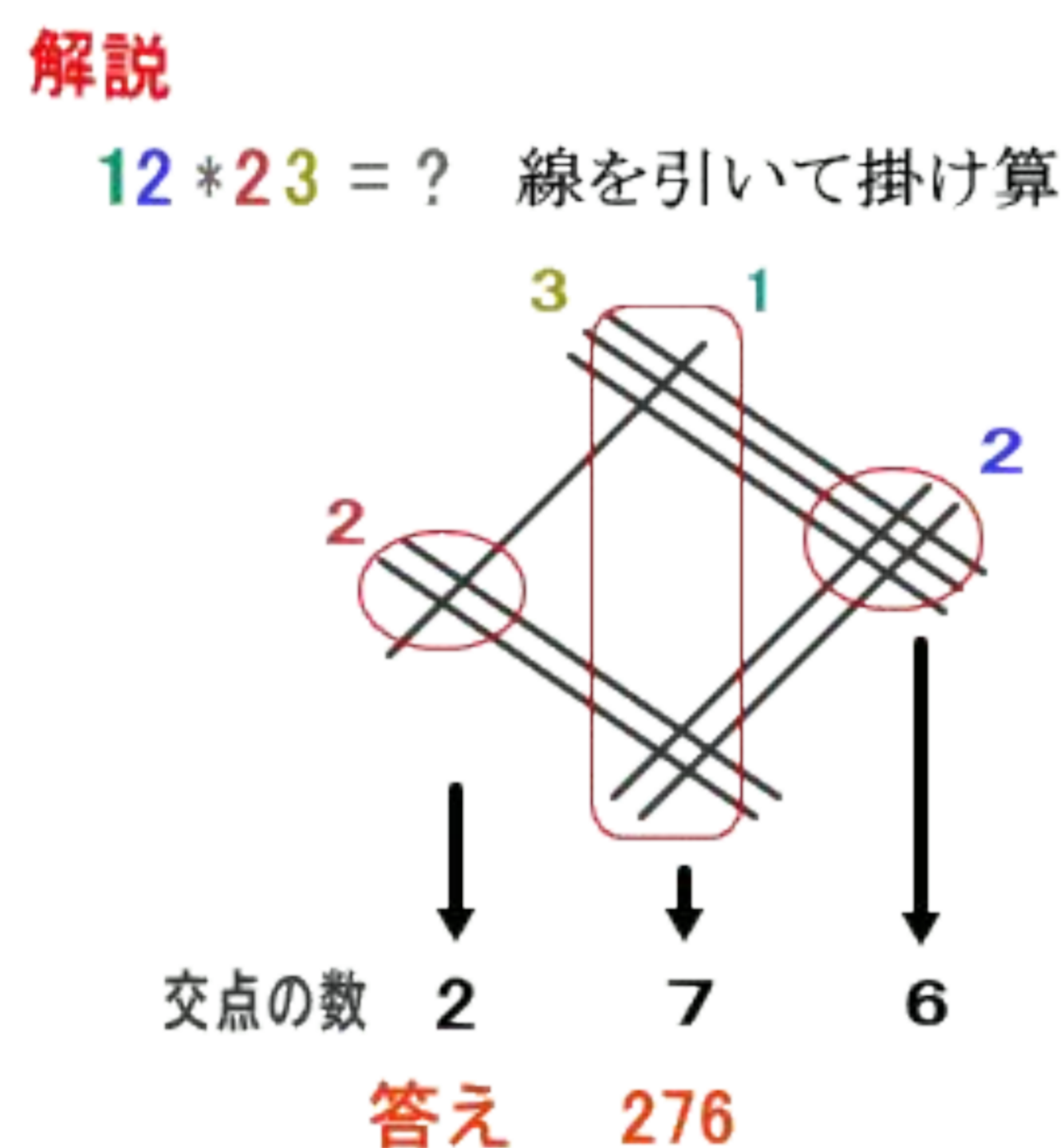
世界には、自分たちが普段当たり前に使っている計算方法以外に、より優れた、より効率の良い計算方法があるのではないかと思ったから。また、それぞれのメリットを組み合わせることで延高独自の計算方法を生み出してみたいと思ったから。

研究の目的

世界の計算方法を比較することでどれが一番簡単にできるのかを考え、最も効率の良い計算方法を作るため。

先行研究

インド式→
特徴・カリキュラム
比較



研究方法

世界の国の計算方法を調べて実際にそれを使って実際に計算(第三者を含む)し、メリット・デメリットを考え、メリット同士を組み合わせることで今までになかった画期的な計算方法を見つける。第三者に解いてもらったりしながら試行錯誤する。

必要な道具

- ・パソコン
- ・班員の脳みそ



仮説

- ・各国で計算方法が違うのは、それぞれの国の文化が影響しているのではないか？
- ・世界の計算方法の中でも日本の方法(筆算)が一番簡単なのではないのだろうか？
- ・日本で扱われているものと本質は同じなのではないだろうか？



研究計画

- ①できるだけたくさんの国の計算方法についてまとめる。
- ②それぞれの計算方法についてメリット・デメリットをまとめる。
- ③メリット同士を組み合わせる新しい計算方法を考える。
- ④考えた計算方法を第三者に実際に使ってもらい、意見をもらって試行錯誤する。

4～5月	色んな国の計算方法をひたすら調べる
6～7月	調べた計算方法の利点欠点を調べる
9～10月	延高独自の計算法を考え、(第三者に解いてもらう)
11～12月	延高独自の計算法を考える(第三者に解いてもらう)

参考文献

<https://berd.benesse.jp/>
https://berd.benesse.jp/berd/aboutus/katsudou/pdf/ict_15.pdf